

# 合格発表・入学手続・修学支援新制度ほか

## 合格発表・入学手続について

・合格発表は、インターネットによる合否照会システムにより行います。本学入試情報サイトに合否照会システムの案内を掲載しますので、案内に従い操作してください。なお、合格者には志願票記載の住所宛に、合格通知書、入学手続書類等を合格発表日に発送します。あらかじめご了承ください。

※合格発表日に合否結果を在籍（出身）校に通知します。

合否照会システムサイトURL

<https://gouhi.eraku-p.jp/era/kinjo-g/>



・合否結果に関する電話・メール・FAX等によるお問い合わせには一切応じられません。

・合格者は、各選抜区分の入学手続締切日までに、入学金及び授業料（前期分）を納入してください。

※この所定の手続きをとらない者には入学を許可しません。

・入学金及び授業料（前期分）の納入にあたっては、本学への現金の持ち込みはお断りしております。高額につき、お手数でも金融機関からの振込みをご利用ください。なお、金融機関からの振込みは窓口を利用してください。（ATMからの10万円を超える現金での振込みはできません。）

・納入した入学金及び授業料（前期分）は返還しません。ただし、2026年3月31日（火）正午までに入学取消申請書（本学所定用紙）を提出した者には授業料（前期分）のみ返還します。なお、返還時期は2026年4月末の予定です。

※合格者には、ご入学までに提出いただく書類や今後の日程等をまとめた書類の入手方法について、合格通知書に同封します。

## 入学前教育について

学校推薦型選抜及び総合型選抜／マッチング型、総合型選抜／活動実績評価型、総合型選抜／自己アピール型の入学予定者には、入学前に課題があります。

本学にて「入学前セミナー」なども実施します。詳しくは、該当者に案内します。

## 国による高等教育の修学支援新制度について

本学は、2020年4月から開始された国による「高等教育の修学支援新制度（授業料等減免・給付型奨学金）」の対象校に認定されております。

※この制度は、住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯について、家計の収入に応じて区分し、授業料減免や給付型奨学金が受けられる制度です。高校在籍時のみでなく、本学入学後でも申込みが可能です。文部科学省のホームページにもQ & Aを含む具体的な説明がありますので、ご参照ください。

[入学金・授業料減免制度へ申請をお考えの方へ]

本学で減免制度を申請するには、日本学生支援機構の給付型奨学金に申請が必須となります。

日本学生支援機構の給付型奨学金に採用されることで、授業料減免制度の支援を受けることができます。

[授業料等の減免方法について]

本学の減免方法は、支援始期に限り「還付」により行います。そのため、授業料・入学金は、一旦全額を所定期日までに納入いただく必要があります。入学後、支援の認定をされた方に減免相当額を還付します。還付予定日は、例年8月末頃です。※支援始期により、還付時期が変更になる可能性があります。ご了承ください。

## 欠員補充の方法について

本学では入学者選抜試験不合格者のうち成績上位者を「補欠合格候補者」としています（「補欠合格候補者」は「合格」ではありません）。入学手続後に欠員が生じた場合、欠員数に応じて「補欠合格候補者」を「合格」に繰り上げる場合があります。繰り上げの際は、志願票記載の電話番号に2026年2月16日（月）以降に連絡後、本学から「合格通知」を書面にて通知します。「補欠合格候補者」に該当する場合は、合否通知時に案内を同封して連絡します。なお、連絡日時等の詳細については該当者にのみお知らせします。

総合型選抜／  
マッチング型

総合型選抜／  
活動実績評価型

学校推薦型選抜  
〔一般／専攻科／総合  
学科／地域選抜型〕

学校推薦型選抜  
〔選抜学生〕

総合型選抜／  
自己アピール型  
〔一般〕

総合型選抜／  
自己アピール型  
〔社会人〕

一般選抜

大学入学  
共通テスト利用選抜

出願書類の記入例

インターネット

受験される方へ

合格発表・入学  
手続・修学支援  
新制度ほか

入学者選抜結果  
その他

## 入学後の学生生活について

### ●アパートの紹介について

本学周辺には多数の学生向けアパートがあり、入学の決まった希望者には本学でも紹介しています。家賃は、光熱・水道・共益費別のアパート形式で25,000円～50,000円くらいが目安です。

※オープンキャンパスではアパートの相談にも応じています。気軽にご相談ください。

### ●奨学金の取扱いについて

本学では、日本学生支援機構・各都道府県市町村育英資金・保育士修学資金・交通遺児育英会・あしなが育英会等の各奨学金制度を紹介し、奨学金の取扱いをしています。

日本学生支援機構の「貸与型奨学金」は本学で最も多くの学生が利用している奨学金です。利子の付かない「第一種奨学金」と利子の付く「第二種奨学金」があります。どちらの制度も、成績基準や家計基準が設けられていますが、第二種奨学金の方がより緩やかな基準が設定されています。在学中に奨学金の貸与を受け、卒業し就職した後に、毎月少しずつ返還していくものです。貸与額は、定められた範囲内で本人の希望により選択が可能です。また、本学独自の奨学金制度として家計急変奨学金制度があります。本学の学生で、修学の熱意があるにもかかわらず、家計の急変・被災などにより経済的に修学の継続が困難となった者の修学継続を援助するために、学納金（各期の授業料および教育充実費）の半額を免除する制度です。

各種奨学金の手続きについては、本学入学後の4月上旬～中旬に別途ご案内します。

※オープンキャンパスでは奨学金についての相談に応じていますので、気軽にご相談ください。

## 成績開示について

本学では「一般選抜」のみを対象に、個人成績開示の申請があった場合に限り、成績開示を行います。開示申請受付は2026年5月上旬から中旬、成績開示は2026年6月上旬です。詳しくは本学ホームページにてご確認ください。

## 学費

### ■ 初年度分 年額

入学金	授業料	教育充実費	実習費 <small>(幼児教育学科のみ)</small>	その他費用(予定)	合計
200,000円※1	620,000円※2,3	310,000円	56,000円	23,740円	1,153,740円
					1,209,740円 <small>(幼児教育学科)</small>

※1 学校推薦型選抜 [奨学生] 採用者 (奨学生B) は、半額 (100,000円) となります。

※2 学校推薦型選抜 [奨学生] 採用者 (奨学生A) は、半額 (310,000円) となります。(初年度のみ) 前後期で各155,000円の免除となります。

※3 成績優秀者奨学生制度利用入学者は、半額 (310,000円) となります。(2年次も継続可) 前後期で各155,000円の免除となります。

### ■ 納入について

	入学金	授業料	教育充実費	実習費 <small>(幼児教育学科のみ)</small>	その他費用 (予定)	合計	納期
入学手続時	200,000円	310,000円 (前期分)	—	—	—	510,000円	入学手続期間内
入学後 (1年前期)	—	—	155,000円 (前期分)	56,000円	23,740円	178,740円 234,740円 <small>(留学期)</small>	4月10日～30日 <small>(予定)</small>
1年後期	—	310,000円 (後期分)	155,000円 (後期分)	—	—	465,000円	9月10日～30日 <small>(予定)</small>
2年前期	—	310,000円 (前期分)	155,000円 (前期分)	—	22,340円	487,340円	4月10日～30日 <small>(予定)</small>
2年後期	—	310,000円 (後期分)	155,000円 (後期分)	—	44,000円	509,000円	9月10日～30日 <small>(予定)</small>

既納の授業料、教育充実費、実習費は、理由の如何を問わず返還いたしません。

[その他の費用]

後援会費：年額15,000円 / 校友会費：年額7,000円 / 校友会特別事業費24,000円 (2年次後期のみ) / 同窓会永年会費20,000円 (2年次後期のみ) / 学生教育研究災害傷害保険料：2年分1,400円 / 学研災付帯賠償責任保険料 (学研賠Aコース)：年額340円が別途必要です。既納の後援会費、校友会費、校友会特別事業費、同窓会永年会費は、理由の如何を問わず返還いたしません。

※ビジネス実務学科では、受講科目等により、材料費、学外研修費等が必要になることがあります。

※ビジネス実務学科・幼児教育学科では、合宿研修費が必要となる予定です。

※美術学科では、地域美術演習の合宿研修費や受講科目により、学外研修費等が必要になることがあります。また、演習では選択するコースによりですが、画材などの材料費や専門的なパソコンが必要となります。